

第4回中空知広域水道企業団地域水道ビジョン検討委員会会議録

- 1 開催日時 平成22年1月25日(月)13:30~14:40
- 2 開催場所 滝川市総合福祉センター2階 中空知広域市町村圏組合会議室
- 3 出席委員 丹羽委員長、小関副委員長、岩橋委員、長田委員、石井委員、堀江委員、小林委員、米内委員
- 4 出席助言者 大江助言者
- 5 出席事務局 中本局長、水林課長、高橋課長、植村主幹、千葉所長、橘所長、柴田所長、篠田所長

委員会議事の要旨

1. 開会 委員長挨拶
2. 議事

(1)平成20年度の決算概要について 別紙資料のとおり

平成20年4月から料金改定を行った。

以後すべて税抜きで報告する、水道事業収益1,733,398,423円、水道料金収入は1,520,529,620円となった。

水道事業費用1,718,702,591円、当年度純利益14,695,832円となり、起債の借り換え等により純利益となった。

年間配水量は当初予定で8,076,000m³と定めたが、実績は8,289,010m³と予算を上回った。

質疑応答(1)

特になし

(2)「地域水道ビジョン」(案)について 別紙資料のとおり

地域水道ビジョン表紙副題 「広域統合から次世代へ安定した安全・安心の橋渡しを」

目次とその概要

第1章 策定の趣旨と位置付け

第1節 策定の趣旨

第2節 策定の位置付け

第2章 水道事業の現状

第1節 水道事業の沿革

第2節 事業認可等の概要

第3節 人口・水量の推移と見通し

第4節 水道施設の概要

第5節 水道事業の経営状況

第3章 水道事業の問題点と課題

第4章 水道事業のあるべき姿

第1節 基本理念と目標

基本理念

安定的に安全な水道水の供給を行い、継続的に水道事業の健全性を確保する

第2節 個別目標の概要

1. 安心・快適な給水

1-1 浄水管理・水質管理の徹底

1-2 漏水防止対策・管路の計画的更新

1-3 水道利用者への情報提供等の充実

2. 運営基盤の強化

2-1 技術力の確保及び技術の継承

2-2 計画的な施設更新

2-3 安定的な経営確保

3. 危機管理・災害対策の推進

3-1 耐震化計画の策定

3-2 危機管理マニュアルの点検整備

3-3 水源・流域における情報連絡体制の維持・推進

第3節 個別実施計画の概要

第5章 計画体系と推進工程

第6章 参考資料

第1節 地域水道ビジョン検討委員会「水道に求めること」アンケート

第2節 地域水道ビジョン検討委員会委員名簿

第3節 水道事業ガイドライン

質疑応答・意見等(2)

質問1 企業団の事務局構成は各団体の派遣職員だが、今後の対応として技術職員の部分についてはプロパー職員を養成して今後のかなめとなってもらいたいと考えますが、企業団としてのお考えは。

回答1 水道用水供給事業時代から派遣職員で運営してきたが、当時は各団体に浄水場勤務の方がおられ、その方々が専門技術者として派遣された。しかし、現在ほとんどの方が退職され、平成18年度からは末端給水となりそれぞれ職員が派遣されている。やはり、技術的な経験や高度な知識が必要な浄水場の管理や水質についてはすでに派遣元の団体にその職務が無い場合、その部分の専門職化が必要であると考えており現在検討を行っている。

質問2 将来人口については国調と住民台帳で計算した場合結果が異なり、住民台帳で行った場合は5%ほど多くなる。今回は国調で行っているが、少なくなる方で計算している。この基礎は直近の平成20年度の国調で計算しているのか、また、この数字は独自で算出したものか。

回答2 この推計は平成18年度に事業統合を行った時の認可申請時の数字をそのまま用いている。よって、基礎となる国調は平成15年度までとなっている。しかし、数値的には実績値(H16~H20)と大きな開きがないため現在も使用している。総務省行政評価局より将来人口推計は一定の期間内で見直しが必要であると指導を受けており、次のビジョンの見直しに当たっては実績

との整合について検証し、見直しが必要であれば行いたい。また、この将来人口は独自に推計したものである。

質問 2-2 平成 15 年度のデータを使って実績値との相違が無いのですか、何パーセント程度の相違なのですか。

回答 2-2 後日、具体的数字を資料提供いたします。

意見 1 料金改定後の決算報告を伺って、前回の料金改定作業に大きな間違いが無かったと分かった。次の料金改定があるのなら、できるだけ早めに情報提供して議論を進めていくべきだと考える。

意見 2 傷口が大きくなる前に国の計画等を勘案しながら、住民に大きなショックを与えないような対策を進めてほしい。前回の会議では他市町村より料金が高いのではという話も出たので、よろしくお願ひしたい。

質問 3 評価をするとありますが、評価の指標はどのように考えていますか。

回答 3 参考のページに掲載している「水道事業ガイドライン」を考えています。また、個別実施計画の中に目標数値が入ってくると考えていますので、これらも評価の対象となります。

質問 3-2 たとえば決算書にも出ていますが総務省の水道事業経営指標があります、また厚生労働省から出ている水道施設機能診断指針があります。ガイドラインを含めてこの3つがよく出てくる。指標にはまずガイドラインを充てるといふ回答だが、評価の仕方としてこのような資料があることをビジョンの中でも謳っておく必要があるのではないか。

回答 3-2 おっしゃるとおりです。これらの指針が評価の指標となると考えます。後でご説明しますが本日の資料が最終案ではありませんので、委員さんのご提案にそって記載させていただきます。

質問 4 厚生労働省の「水道ビジョン」では5つのテーマとして定められたが、この検討委員会では「安心」「安定」「持続」については出てきたが、「環境」「国際」についてはまだ出ていない。前段の説明で触れられたのかもしれないが、この点はどのようなのでしょうか。

回答 4 第1回委員会の資料としてあった「地域水道ビジョンの策定について」でもご説明しましたが、今回のビジョンの策定の概要として当初から「環境」「国際」については盛り込んでおりません。

特に「国際」については当企業団として常時国際貢献が出来うるのかということもあり、取組は検討しておりません。また、「環境」については今日的なテーマではありますが、位置付けないという訳ではないのですが、積極的な環境改善への方針を現時点で示す事が難しいと判断しております。地域水道ビジョンがすべてのテーマを網羅する必要はないと考えており、今回のみでビジョンが完成したとも考えておりません。「環境」に関しては次の見直し時に議論が必要であれば、検討すべき課題であると考えています。今回についてはこの委員会でも議論をしておりませんので、あえて「環境」について加えるつもりはありません。

質問 5 この地域水道ビジョンは本日で（案）がとれるのか。

回答 5 違います。この地域水道ビジョンは検討委員会の皆さんのご意見を広く伺いながら作成することで進めています。今後、本日のご意見も含めながら事務局で精査し、理事者協議を経て最終的には議会へ報告していきたいと考えています。議論、ご意見の聴取については、本日で終了

しますが、最終内容については皆さんにお示しをし、今後とも水道事業に対してそれぞれの立場からご意見をいただきたいと考えています。

議長 今まで議論した内容が織り込まれておりますので、とりあえずこの(案)で理解することによろしいでしょうか。

各委員 意義なし

議長 それではこの内容については委員会として理解したという結論とします。

議長 これで私ども役目は終わる訳ですが、事務局から何かありますか。

事務局 本日をもって検討委員会を終了します。終了に当たって運営して頂きました丹羽委員長さんから退任に当たってご挨拶をお願いします。

委員長 委員の皆様方のご協力によりまして私どもに課せられた内容を4回の会合を持って終わらせていただきます。皆様のご協力を深く感謝申し上げて、退任の挨拶とします、皆様ありがとうございました。

3. その他

水道企業団より委員・助言者の方々へのお礼挨拶

企業局長 どうもありがとうございました。本来でありましたら、企業長もしくは参与(滝川市副市長)がお礼のご挨拶を申し上げるところですが、新年度予算が大詰めを迎えており直接ご挨拶を申し上げる事ができません。皆様方にはくれぐれもよろしくお伝えするように申しつかってまいりましたので、一言お礼を申し上げます。

10月5日から4回に渡りましての検討委員会、どうもありがとうございました。この場でご発言、ご意見をいただいた事を地域水道ビジョンに反映させまして、理事者はもとより議会へ報告させていただきます。厚労省の「水道ビジョン」のキーワード、特に「環境」「国際」のお話が先ほどもでしたが、平成20年度から料金を統一して2年経過したばかりで、水道ビジョンの取組は少し早いのかもしいないと思っておりましたが、このビジョンを基にしてこれから詳細な管路の更新計画ですとか、水質等の安全・安心に対する対策を決めていかなければならないということで、委員会を発足させていただきました。このことはもとより、この会議が終了したからと言って皆様方のご意見を聞かないということではなく、これから詳細な計画も公表してまいりますので、その場その場で結構でございます、こういう意見もあるという事をお聞かせいただきたいと思います。いわゆるローリング方式で検討・検証してまいりますので、よろしく願いいたします。随時検証する中で「次世代へ安定した安全・安心の橋渡し」というお題目を確実に実行するように努めてまいりますので、また何かご意見ございましたらお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

4. 閉会